帝国書院　令和６年度版「楽しく学ぶ　小学生の地図帳」QRコードコンテンツ「47都道府県地図－岩手県」活用例

教授用資料

* ４年生における**「自分たちの都道府県」**を学習する単元が主となります（「伝統文化・先人たち」のみ別単元）。
* **太字**　部分は、「47都道府県地図－岩手県」の活用を示しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 教科書の学習項目 | 「47都道府県地図」を使った学習活動 | 指導上の留意点 |
| 日本の中の岩手県 | * 地図帳で岩手県の位置を調べる。
* **「県のようす」**を見ながら、県について知っていることや、地図からわかることを話し合う。

学習問題　わたしたちの住む岩手県には、どのような特色があるのだろう。 | * 岩手県が日本のどこに位置しているのか、理解することができるようにする。
* 単元を通して、ワークシートを活用して県の様子について調べ、分かったことや考えたことを総合して、県の特色を明らかにしていくことを伝える。
 |
| 岩手県の地形 | * **「地形のようす」**を見て、山地・平地・川の分布を調べる。
* **「地形・土地利用」ワークシート**の**「●地形のようす」**で作業を行う。
 | * 山地が広い面積を占めていることや、北上川流域に平地が広がっていること、海岸線が複雑であることなど、県内の地形の様子をとらえることができるようにする。
 |
| 岩手県の土地利用 | * **「土地利用のようす」**を見て、市街地・田の広がりを調べる。
* **「地形・土地利用」ワークシート**の**「●土地利用のようす」**で作業を行う。また、**「●地形のようす」**と並べて見て、気づいたことをシートに記入する。
 | * 北上川流域に田が広がっていることや、八幡平方面の畑作地など、県内の土地利用の様子をとらえることができるようにする。
* 川の流域の平地に田や市街地が広がっていることなど、地形と土地利用の関連に気づくことができるようにする。
 |
| 岩手県の市・町・村 | * **「県の市・町・村」**を見て、県内のおもな都市と、自分達の住む市町村の位置を調べる。
 | * 県内のおもな都市や、自分達の住む市町村は岩手県のどこにあるのか、理解することができるようにする。
 |
| 岩手県の交通 | * **「交通のようす」**を見て、高速道路や鉄道がどこを通っているのか、港はどこにあるのか調べる。
* **「交通・工業」ワークシート**の**「●交通のようす」**で作業を行う。
 | * 北上川流域の南北方向を軸に、東西に向かってに交通路が発達していることなど、県の交通の様子をとらえることができるようにする。
* 高速道路や新幹線は他県に通じていることに気づくことができるようにする。
 |
| 岩手県の産業 | * **「おもな農林水産物」「おもな工業」**を見て、県内のおもな農林水産物、工業製品の種類と、その分布を調べる。
* **「土地利用・農林水産物」ワークシート**の**「●土地利用のようす」「●おもな農林水産物」**で作業を行う。また、２つを並べて見て、気づいたことをワークシートに記入する。
* **「交通・工業」ワークシート**の**「●おもな工業」**で作業を行う。また、**「●交通のようす」**と並べて見て、気づいたことをシートに記入する。
 | * 米のほか「しいたけ」「キャベツ」などの野菜、「りんご」などの果樹、「うに」などの海産物と、多くの農林水産物が作られていることをとらえることができるようにする。
* 「電子部品」「食品」「水産加工」など、県内の工業の様子をとらえることができるようにする。
* 工場が高速道路のインターチェンジの近くにあることなど、交通と工業の関連に気づくことができるようにする。
 |
| 岩手県の特色をまとめる。 | * **「岩手県」の各地図**を見返し、**これまでの作業したワークシート**を用いて、県の特色を話し合う。
 | * これまでのワークシートの作業で気づいた地形と土地利用、交通と工業などの関連にも着目して、県の特色を考えることができるようにする。
 |
| 岩手県の伝統文化・先人たち | * **「おもな伝統文化・先人」**を見て、自分が知っている伝統工芸品・伝統行事・祭り・先人を見つける。
 | * おもな伝統文化・先人を確認することで、県内の伝統や文化、先人の働きを調べる動機づけを図る。
 |

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。